

## 「テーマ I・パライバトルマリン」アンケート集計

平成 27 年 10 月 21 日・22 日 27 人中 21 回答

### ① 一番印象に残った点：

1. ネオンカラーの原因が解明されていないこと。
2. パライバトルマリンの範囲に入るかどうか疑問の色味であっても、ネオン感のある石は他のトルマリンと比べて魅力があったことと、エクセル処理の内容。
3. パライバトルマリンの製品（リング）が素晴らしいネオンブルーで、自然界のカラーストーンで一番輝いて見えるのではないのでしょうか。
4. サンプルが多種多様に用意されていた点、定義がはっきりと伝わった点、処理の概要も説明していただいた点、市況についても説明があった点など、有意義な勉強会でした。
5. 枯渇したと思っていたブラジルの鉱山から採れているということ、そしてその映像を見られたこと。伊藤理事長・古屋さんのお話はいつも大変興味深いです。ありがとうございました。
6. ルースで見るより製品になっている方が解りやすい。（枠にセットすると色が変わるので）また、毎回その石の海外での評価や国内の動向など、石の質以外の話も、とても勉強になる。
7. エルパイトとインディゴライト、銅を含み、青～緑のネオンカラーの石を、現時点でパライバと呼ぶ。
8. 加熱の程度、含浸処理の状況を知ることができた点。
9. 加熱されていないトルマリンを観たこと、トルマリンの色にグリーンがあること。
10. 産地の説明、採掘の実態。インクルージョン・加熱・含浸の説明。サンプルをたくさん見ることができたこと。
11. パライバの中でも青があり、グリーンもあることが印象的だった。産地によって色や大きさの特徴があることがわかった。
12. パライバの原石を見られたこと、産地のこと。シャーベットカラーになるのはインクルージョンが多い石を加熱した場合ということが分かり、とても勉強になった。
13. たくさんの石が見られたこと、鉱山のビデオを見られたこと、最近の動向を聞いたこと。
14. グリーンからブルーの色の特徴が良くわかりました。サンプル・原石をたくさん見比べることが良かったです。
15. 素晴らしいお勉強ができました。ありがとうございます。
16. 「ネオンカラー」という枠組みではなく色因原素と色相、鉱物種（ソディコータイトとエルパイト）という部分で、パライバトルマリンかどうかが決まり市場に出ている。疑問に思われる色合いのものにも納得がいききました。今回はサファイアブルーのトルマリンを見られたことがとても貴重な経験でした。
17. 色がのってテリのある「B5」の石は素晴らしいです。
18. 色とテリのバリエーションが豊か。着色原素の割合が色合いに関与している。加熱によって生じたインクルージョンの観察。
19. 産地によって色目が違っているが、パライバトルマリンは透明感も含めてタイプが幅広く、見た目の特徴を一言で表現するのは難しい。好き嫌いがある。

20. 数多くの品々を見ることができてよかった。産地別特徴がよくわかった。

21. 産地別で見られたこと。ブラジルでの産出が今後も期待できること。

**② 今後も JGS 宝石勉強会・シンポジウムに参加したい:**

---

1. YES . . . . . 20
2. No . . . . . 0
3. 分からない . . . . . 1

**③ 今後取り上げて欲しいテーマ:**

---

1. 色石を仕入れる時の品質と相場の留意点など。
2. 是非エクセル処理について取り上げていただきたい。
3. ガーネット類などはよく理解せずに販売してきたように思いますので是非勉強してみたいと思います。
4. スピネル、カラーダイヤモンド（天然・処理）
5. 貴石・半貴石の処理石のルーペ等で判別できる方法。
6. エメラルド、オイリングのグレード。
7. UV カラーチェンジの宝石
8. パパラチアサファイヤ、インペリアルトパーズ
9. レアストーン
10. 宝石珊瑚
11. 翡翠（3）、ミャンマー翡翠と糸魚川翡翠の違い。
12. ジェダイトの染色・無染色の見分け方、オレンジ・ピンク系の拡散処理の見分け方などの処理関係のテーマがありがたいです。
13. デマントイド・ガーネットの産地と加熱。
14. 商品価格。

**④ その他のコメント:**

---

1. ネオンカラーが強く発色も良くてインクルージョンが詰まった石と、ネオンカラーが弱く色も薄めだがインクルージョンがない石では、どちらに価値があるのでしょうか。
2. 今までの企画は素晴らしいと思います。会員を増やしていくのも一つです。また、まだ参加されていない販売担当の方々（経営者の理解も必要でしょうが）に勉強会・シンポジウムに参加していただき、消費者の方々安心して買い物ができるように、お店として説明できればリピーターも増えてくると思います。また、勉強会の様子を写真にして会報誌に載せていくのも一つだと思います。
3. 標本石の個数は少なくてもいいので、ゆっくりルーペで見る時間を設けてほしい。
4. 様々な周辺知識も得られて良かった。
5. ここまでたくさんの資料を用意するのは大変だったと思います。ありがとうございました。
6. 今後ともよろしく願いいたします。
7. 今回も楽しかったです。ありがとうございました。
8. 生成、産状、処理、流通が学べました。サンプルも多く比べることができ良い経験になりました。